

透析患者とその家族の間に腎移植に 対する思いの差異はあるか ～当院における意識調査～

医療法人社団スマイル 博愛病院1)

クレア焼山クリニック2)

児玉佳美1)、杉本圭子1)、土岡舞1)、大窪由美子1)、
有田和恵1)、山下美代子1)、高杉敬久1)、桐林慶2)



はじめに

わが国における腎移植数は年間1,000例に満たず、腎移植の登録患者数は全透析患者の4%前後と低い。その背景として、ドナー不足や法的整備の立ち遅れなどが指摘されているが、透析および移植医療を傍らで支える家族の移植に対する意識は重要な要素である。



目的

血液透析患者およびその家族の腎移植に対する意識の差異と、その背景因子について検討する。



対象

当院で慢性血液透析を施行中の患者のうち、連絡可能な家族があり、かつ意思表示が可能な患者203名とその家族。そのうち、187症例からペアで回答が得られた。

男/女：99/88(人)

年齢：64.3±13.4(才)

透析期間：9.1±7.8(年)

(平均値±標準偏差)



方法

「腎移植に関する意識調査のアンケート調査票」を用いて、腎移植を希望する思いの強さをvisual analog scale (VAS)によって10段階にスコア化し、患者～家族間の差異および背景因子との関連性について検討した。統計的検討は、Spearmanの順位相関および、Mann-Whitney U検定を用いて行った。

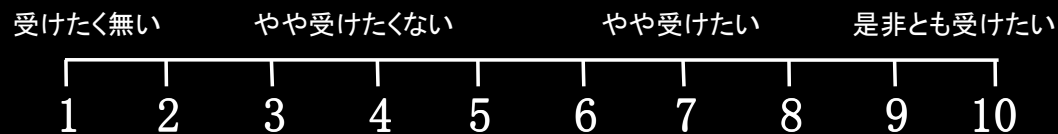


腎移植に関する意識調査のアンケート内容

<透析患者へのアンケート>

質問1) 腎移植を受けたいと思いますか？

(1~10の10段階で教えてください。)



質問2) 主治医やスタッフから、透析導入にあたって腎移植についての説明を受けましたか？(はい or いいえ or わからない)

質問3) 上記質問2)で「いいえ」「わからない」と答えられた方にのみお聞き

します。腎移植についての説明を聞きたいですか？(はい or いいえ)

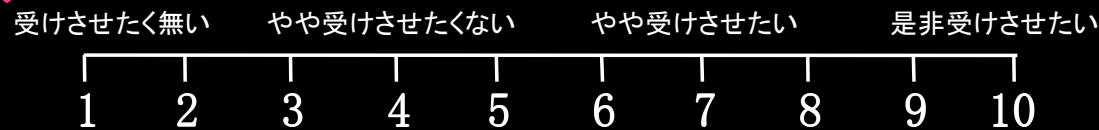
質問4) 腎移植の登録をされていますか？(はい or いいえ or わからない)

質問5) 登録されていない理由は何ですか？(複数回答可)

<透析患者の家族へのアンケート>

質問1) 腎移植を受けさせたいと思われませんか？

(1~10の10段階で教えてください。)

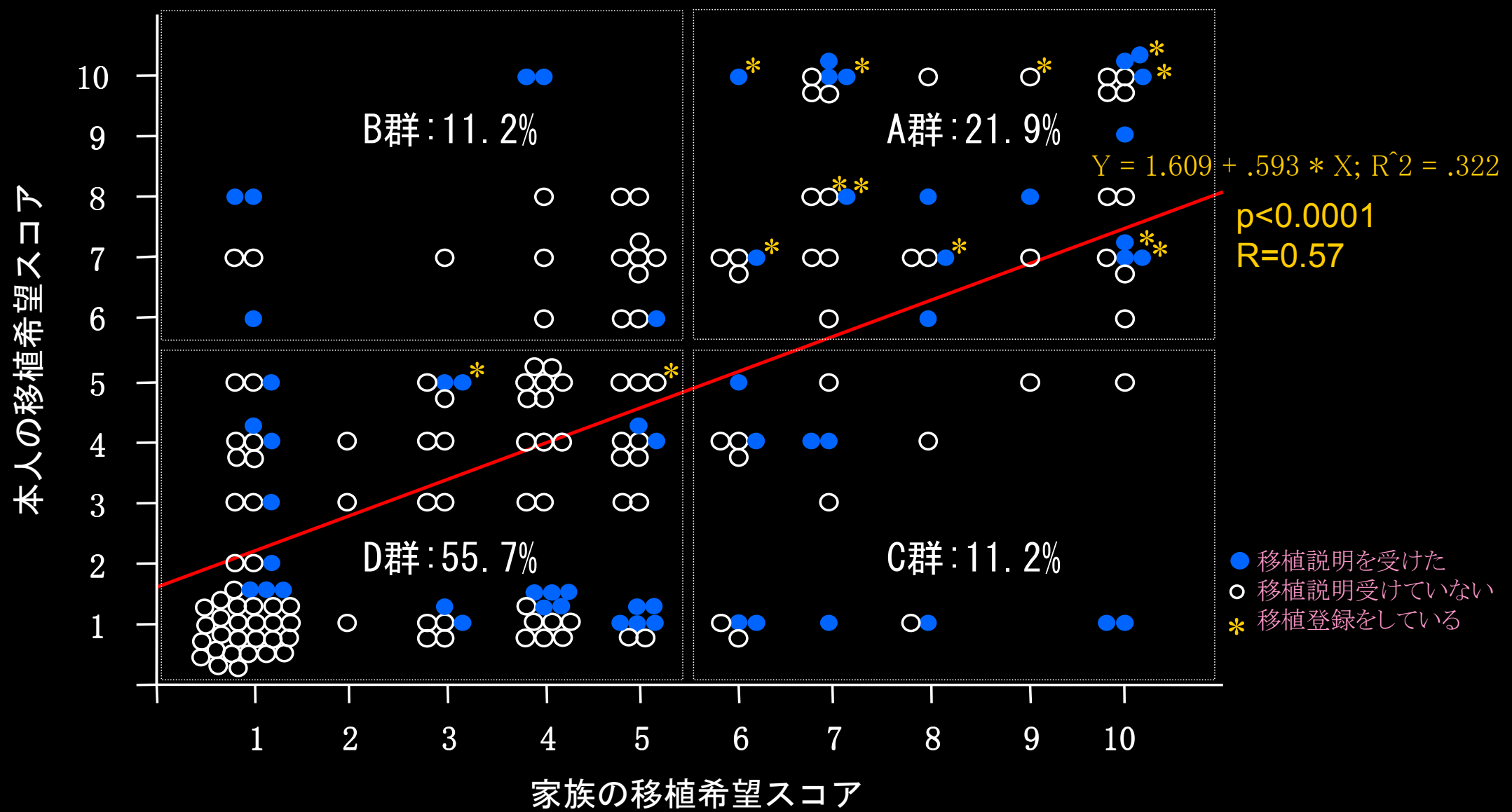


質問2) 上記質問1)で5以下と答えられた方にのみお聞きします。

その理由は何ですか？(複数回答可)

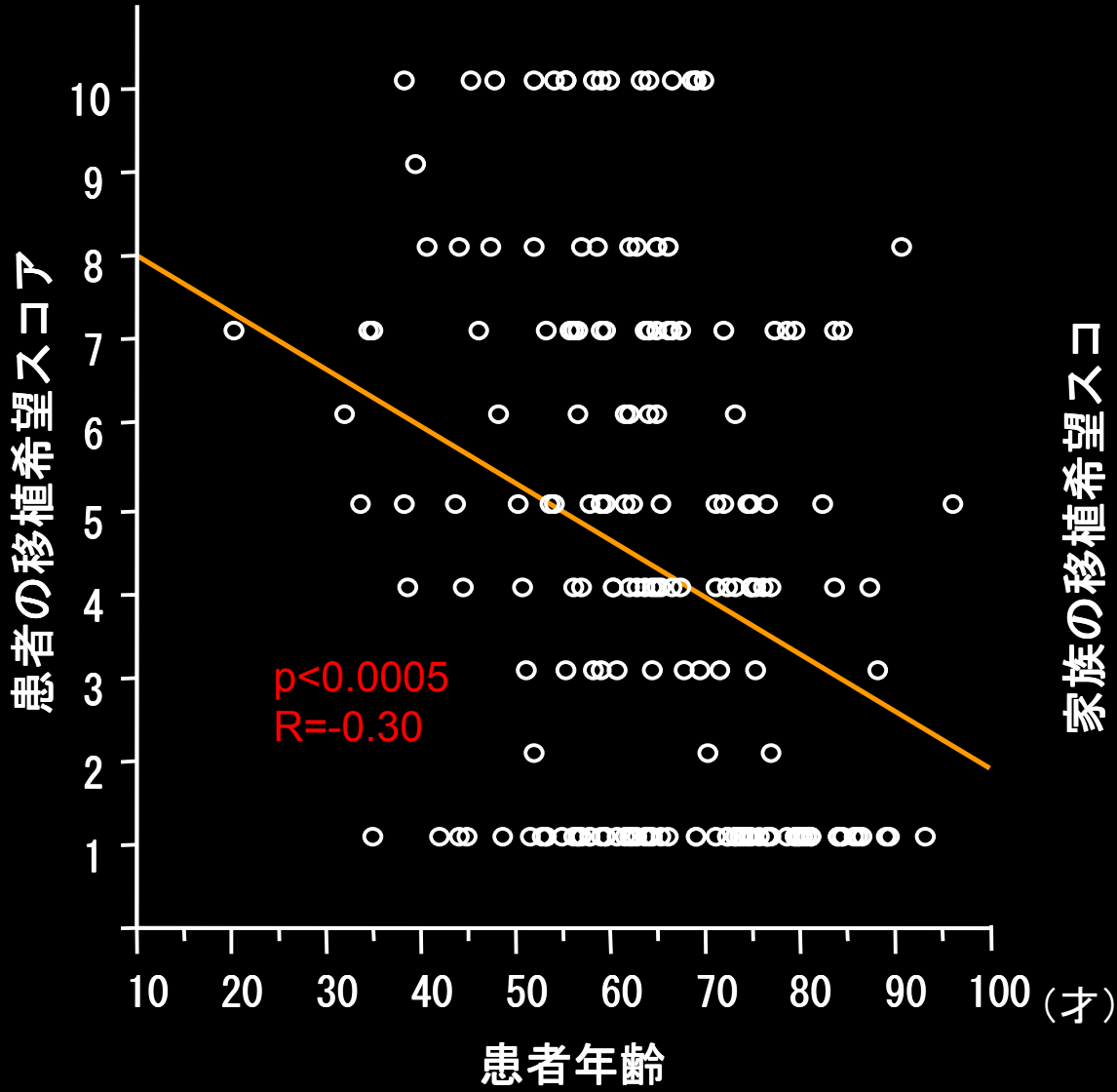


患者とその家族の移植希望スコア

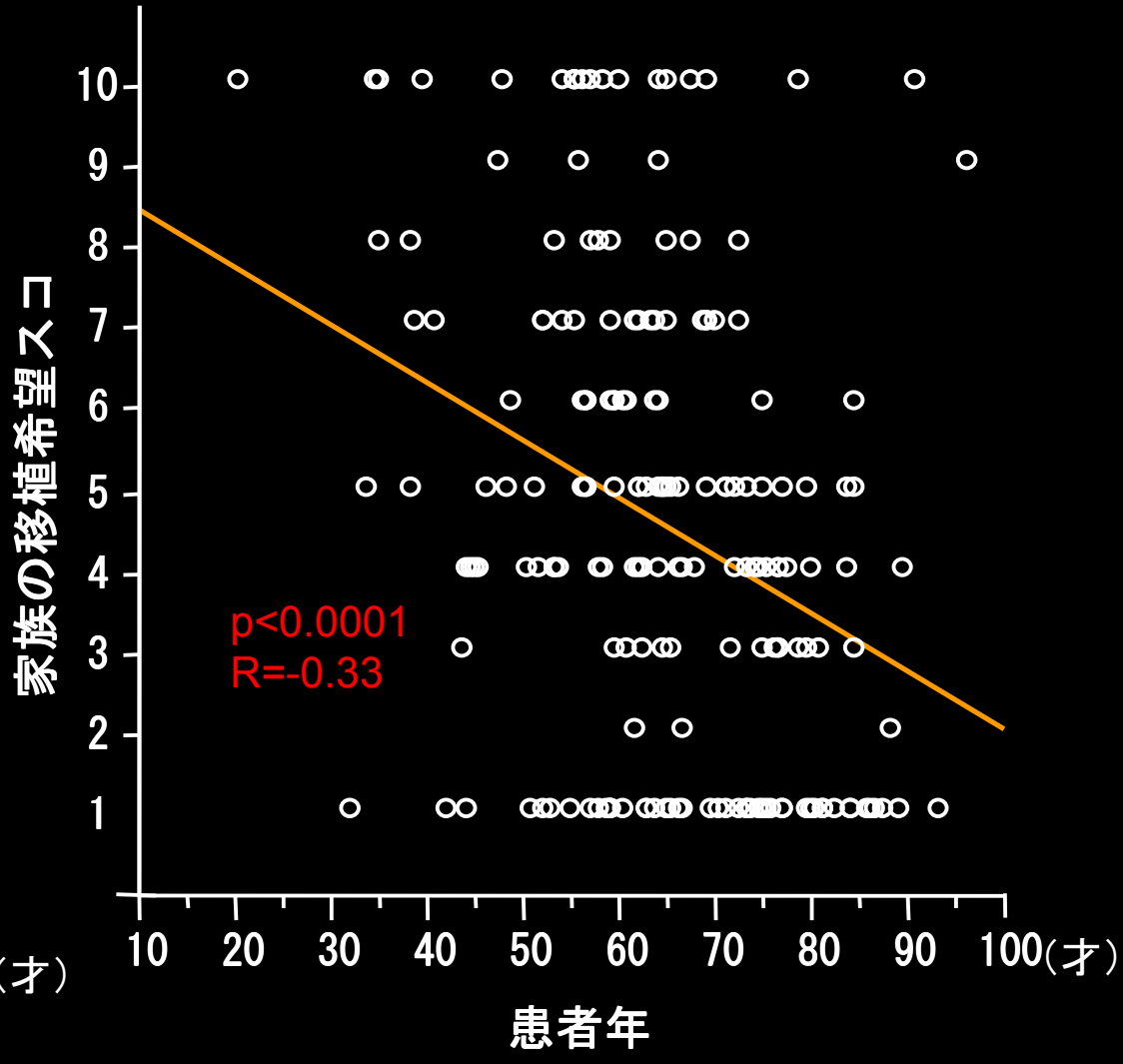




患者年齢と移植希望スコアの相関



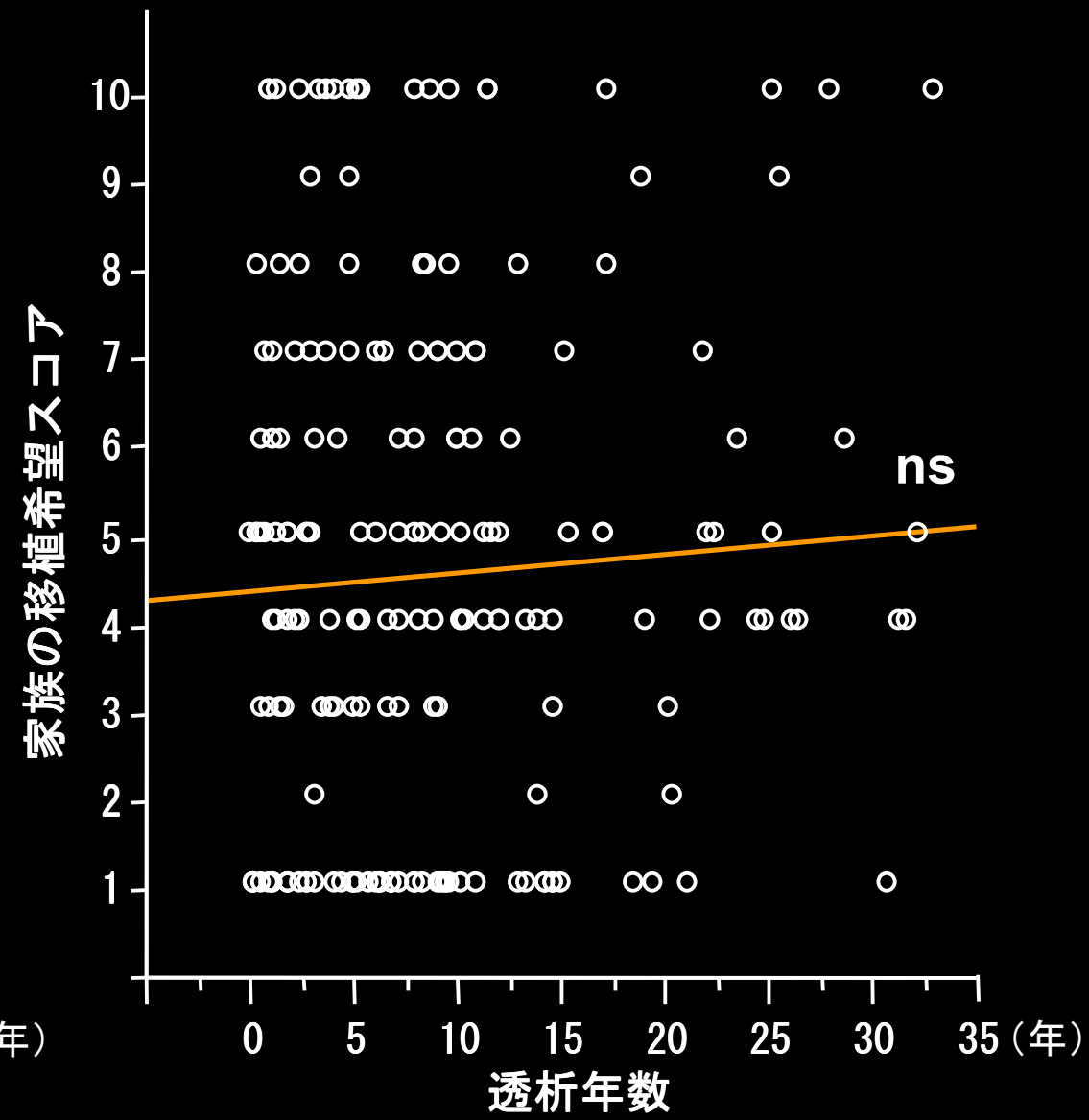
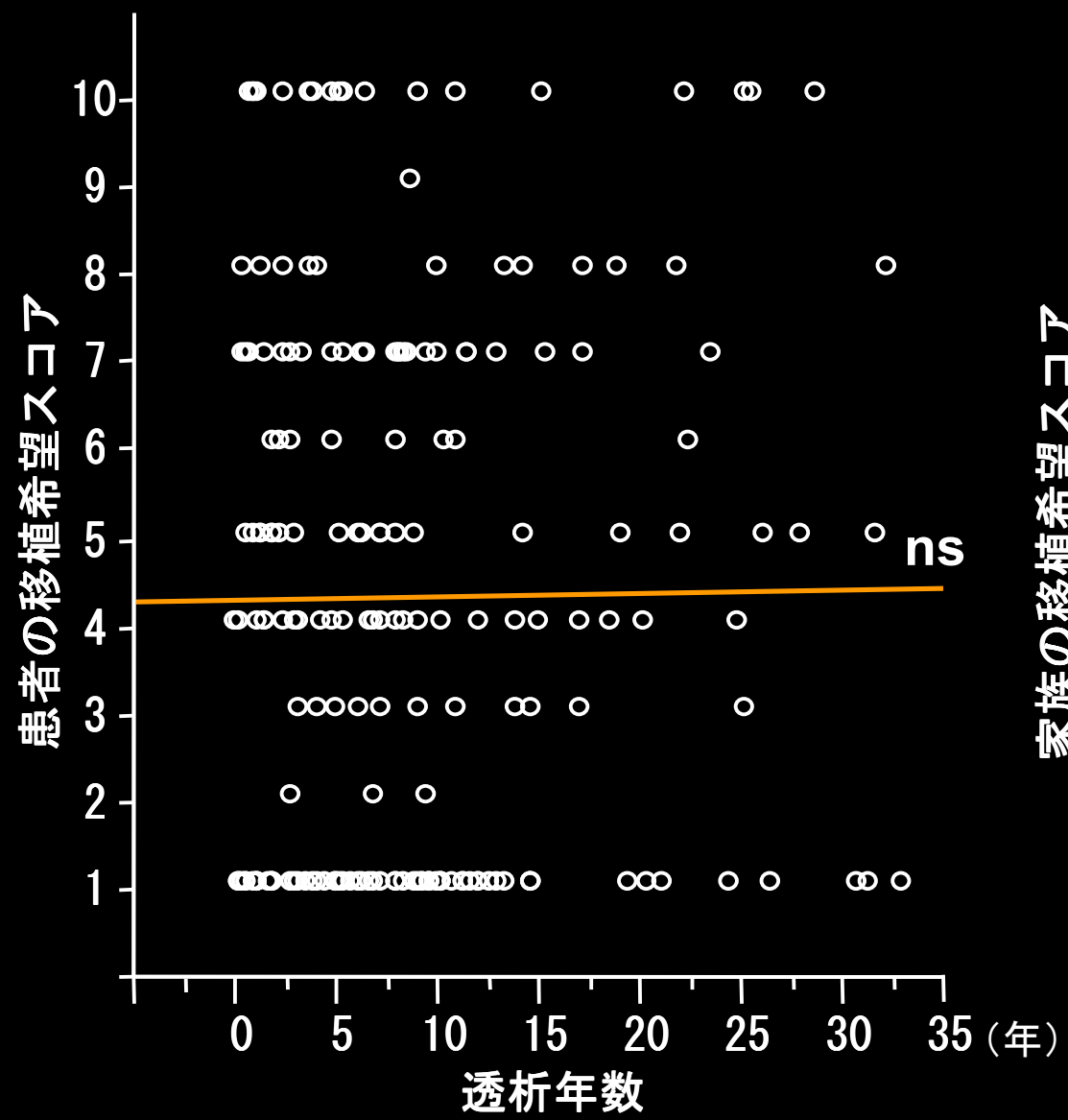
$$Y = 8.66 - .067 * X; R^2 = .089$$



$$Y = 9.166 - .071 * X; R^2 = .108$$

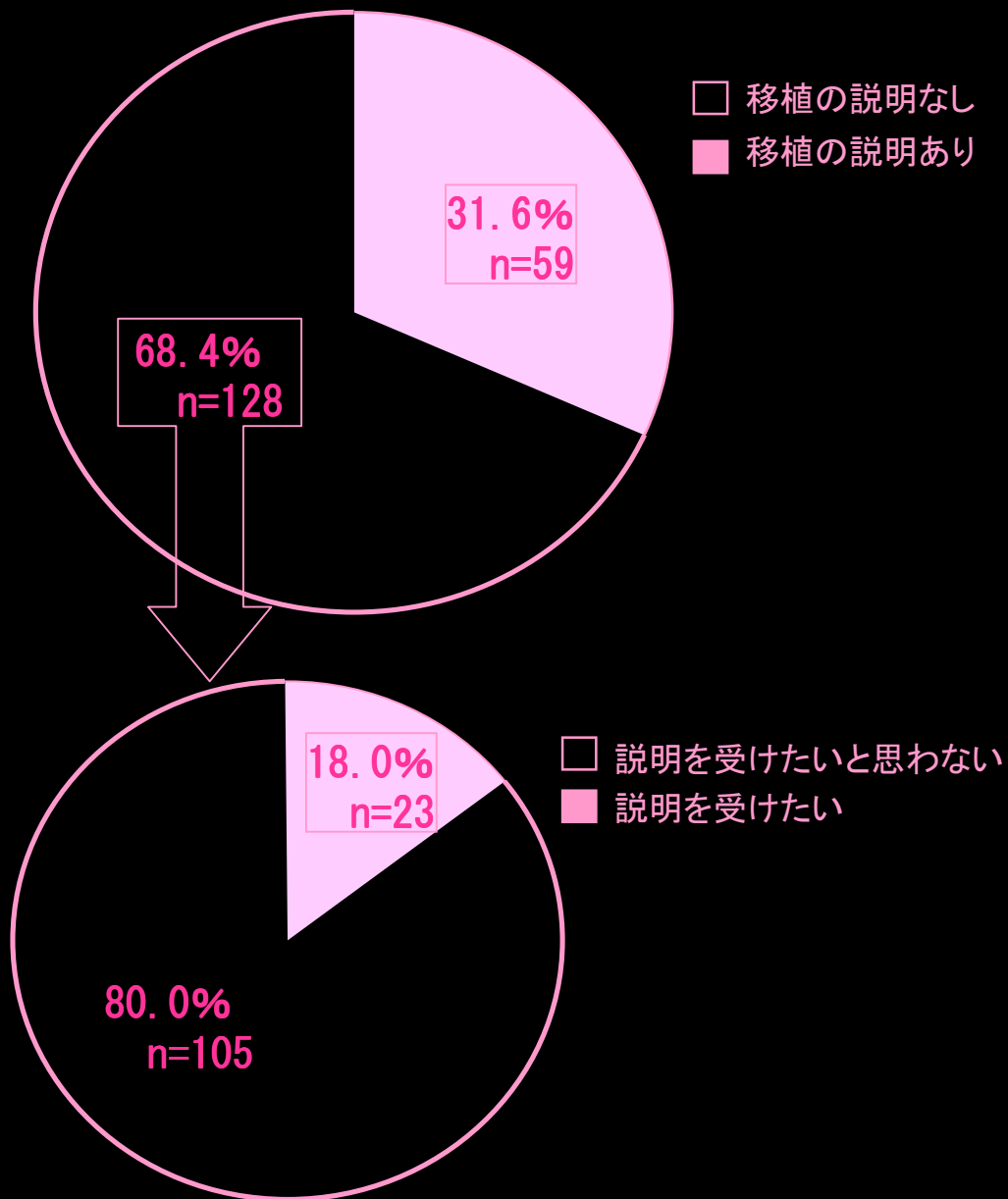


透析年数と移植希望スコアの相関

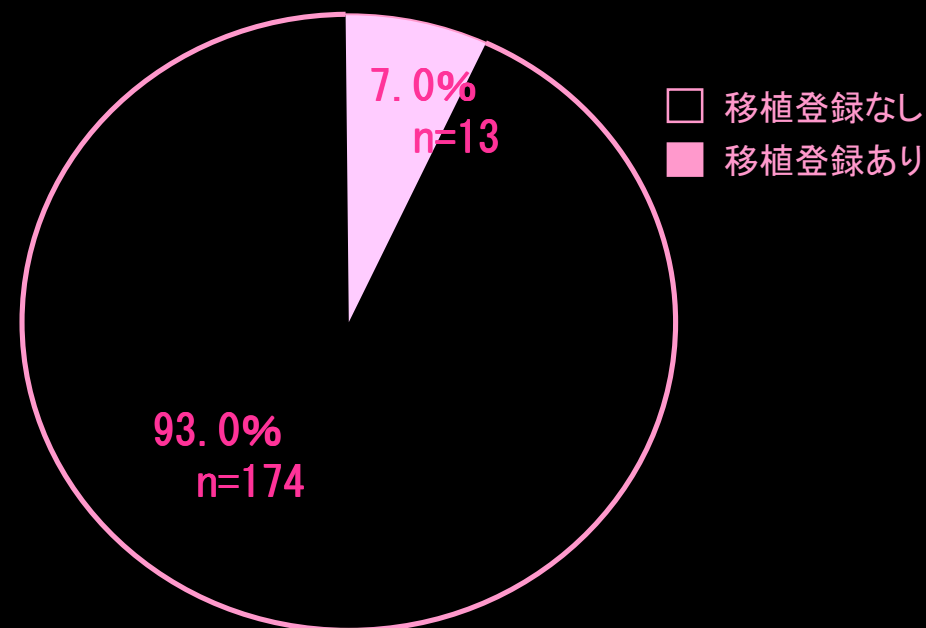




透析導入時における 腎移植についての説明の有無



腎移植登録の有無



腎移植登録をしない主な理由

- ・手術に耐え得るかどうか心配
- ・登録しても待つ期間が長い
- ・登録や更新に必要な費用が負担である
- ・現在の透析療法に満足している
- ・仕事の都合で緊急の手術に対応できない
- ・腎移植の登録方法が分からない
- ・その他



移植登録の有無と移植希望スコア

移植登録なし群

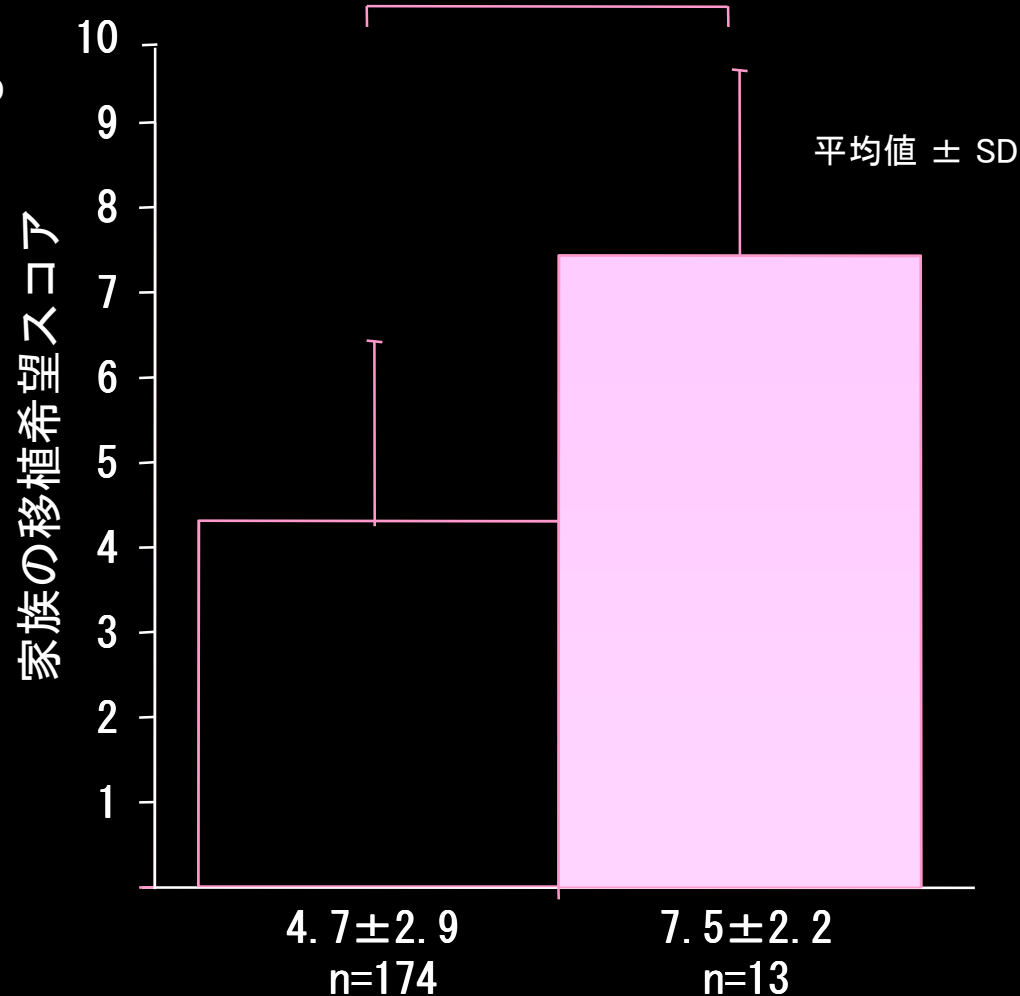
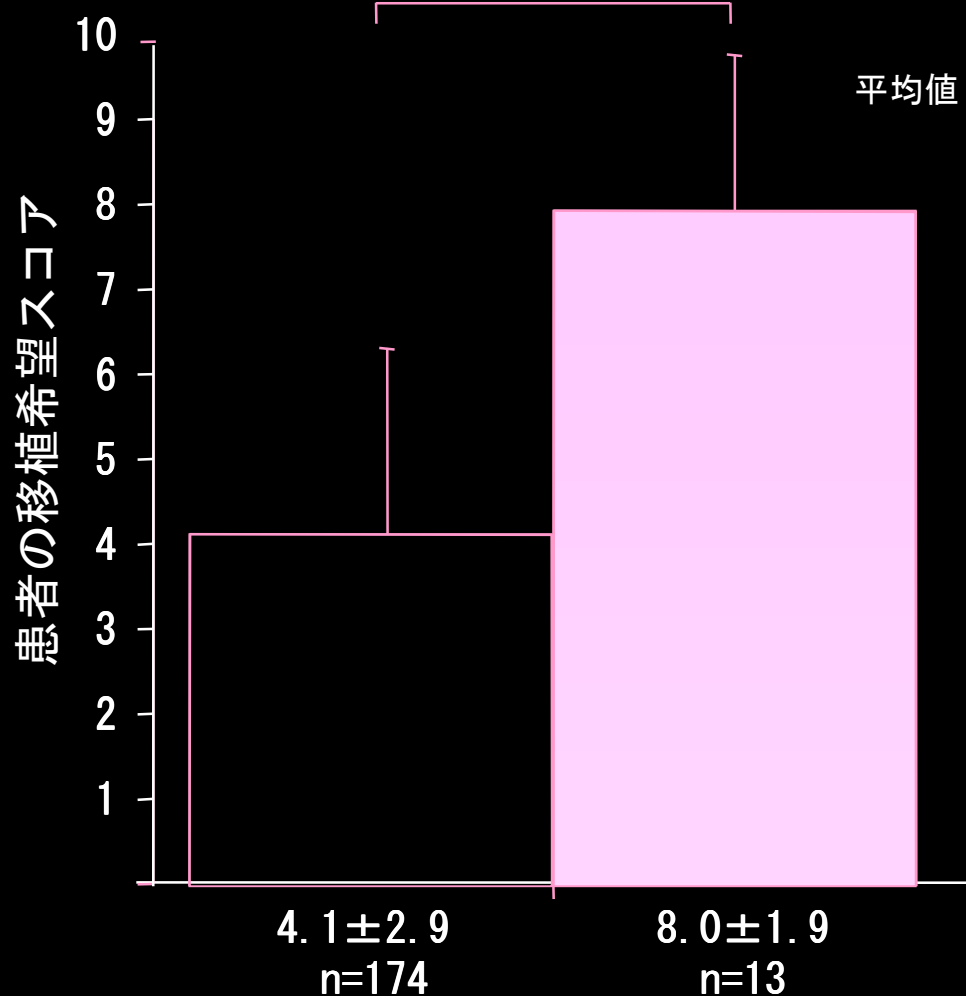
移植登録あり群

移植登録なし群

移植登録あり群

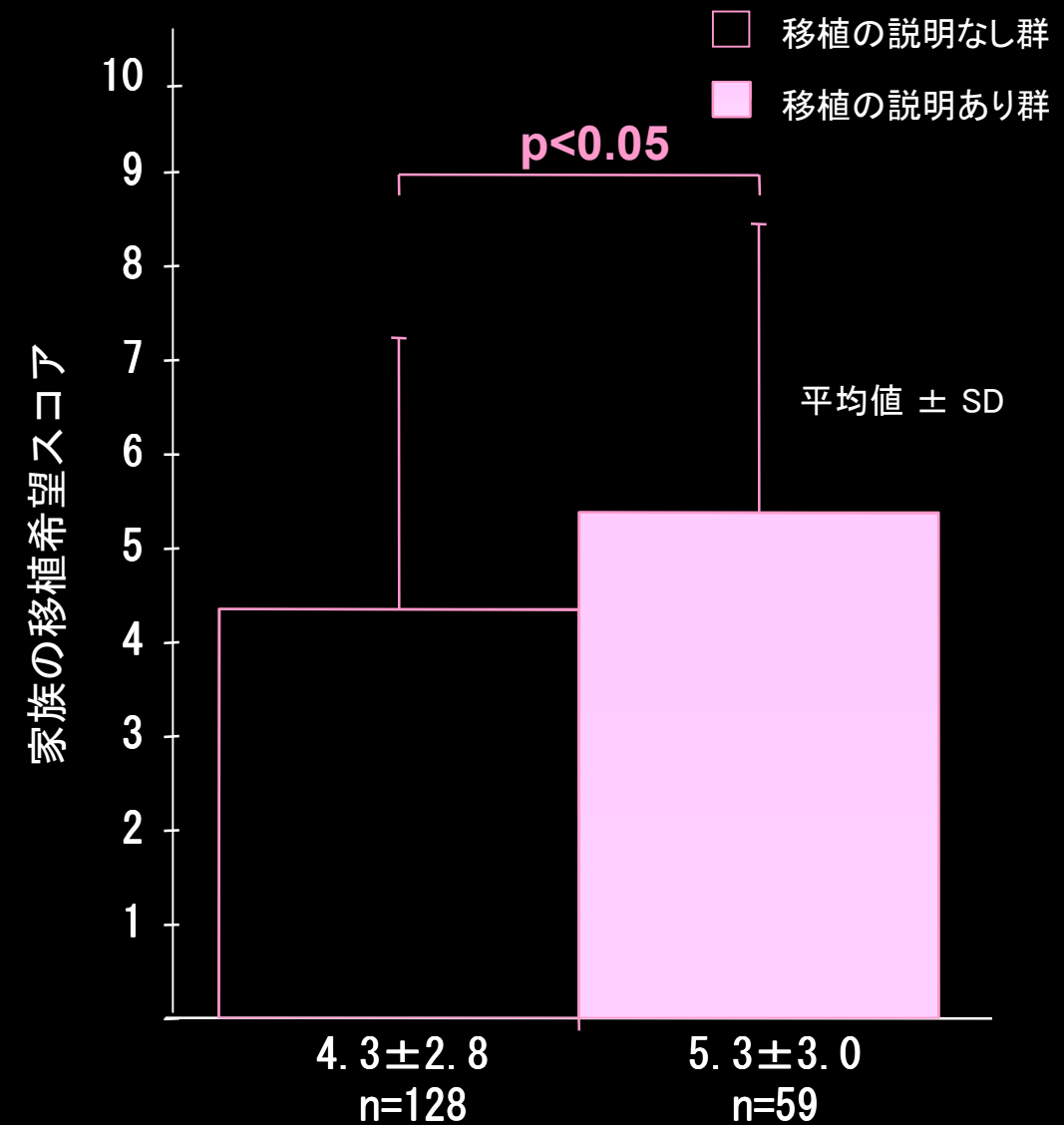
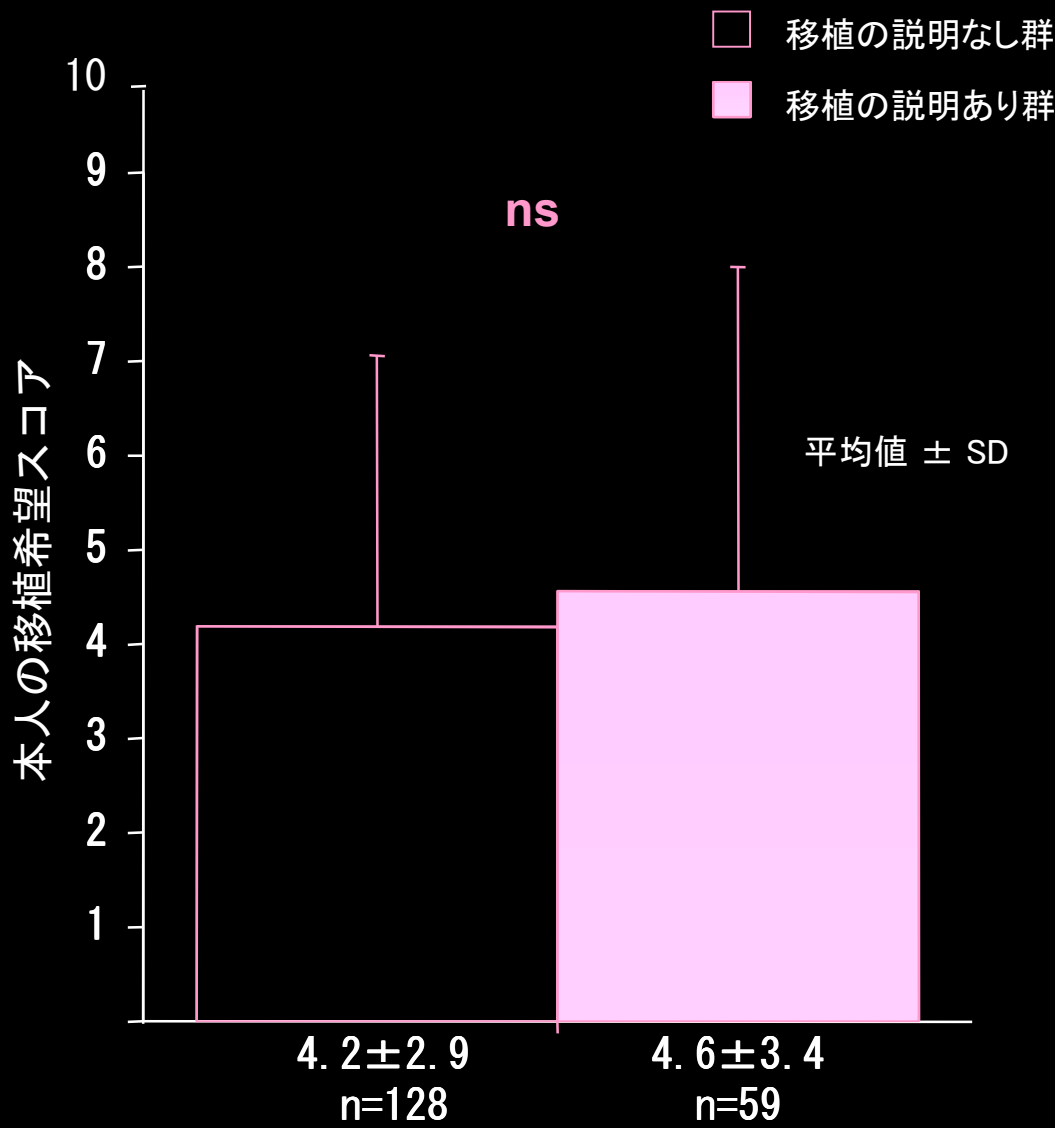
$p < 0.0001$

$p < 0.0005$





透析導入時の腎移植についての説明の有無と移植希望スコア





まとめ

- 1) 患者、家族の移植希望スコアはそれぞれ 4.3 ± 3.0 、 4.6 ± 2.9 であり、両者の間に比較的強い正の相関を認めた。両者ともに5以下の症例が、55.7%を占めていた。
- 2) 患者、家族の移植希望スコアは、それぞれ患者年齢と負の相関を認めたが、透析期間との間には有意な相関を認めなかった。
- 3) 腎移植の登録の有無による群分け検討では、患者、家族の移植希望スコアともに「登録あり群」が有意に高値であった。
- 4) 透析導入時に腎移植についての説明を受けたと答えた患者数は31.6% (59名)であり、導入時説明の有無による群分け検討では、移植希望スコアに明らかな群間差は認めなかった。



考 察(1)

腎移植を受けたい・受けさせたいという意識の度合いは、概して患者・家族間で一致してた。しかし、その一方で、一部に患者・家族間に意識の差異が生じており、個々の状況を配慮した上でこの差異を埋めるためのサポートを行う必要があると思われる。



考 察(2)

透析導入時の腎移植についての説明の有無によって移植希望スコアに明らかな差が認められなかったことについては、腎移植についての説明が質的に十分であったか、動機付けとなるフォローアップが十分になされていたかについて吟味する必要があると思われる。



参考文献

- 1) 太田和夫、中牧子：わが国における腎移植統計、腎と透析61：457-459, 2006.
- 2) 中野広文、古賀祥嗣ほか：慢性腎不全に対する腎代替療法の情報提供に関するアンケート調査、日本腎臓学会誌48：658-663, 2006.
- 3) Haruki.S：Psychiatric problems in organ transplants: examples on the renal transplants from living relatives in Japan. Nippon Rinsho 63:1908-12, 2005.
- 4) Asano Y., Ashiari J.:Report from the Japan organ transplant network. Nippon Jinzo Gakkai Shi. 47:517-23, 2005.